

内視鏡的静脈瘤結紮術(EVL)パス 入院診療計画書

GAY108

患者ID	主治医	病名	説明日
患者氏名	(性別) 担当医	管理栄養士	症状 <input type="checkbox"/> 事前検査による異常所見
生年月日:	(年齢) 看護師	特別な栄養管理の必要性	<input type="checkbox"/> 患部の自覚症状
病棟(病室)	薬剤師	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(つかえ感・)

月日	入院日・前日	治療前	治療後
患者目標	不安なく治療を受けることができる		治療後合併症を起こさない
治療処置 注射 (内服)	現在使用している薬をすべて確認します (現在中止している薬も含む)  入院中に使用する薬について説明します アレルギーの有無等を確認します	朝の薬は6時に()を 少量の水で内服します  9時頃から点滴をします	酸素を開始し、心電図モニターを装着します (装着時間は状態によって変わります) 点滴をした状態で帰宅します(続けて点滴をします) 粘膜を保護する薬を内服します
検査	必要に応じて行います		
食事	常食(必要に応じて治療食)です 治療前日21時以降は食事を摂取することができません 水分(水・お茶のみ)は摂取することができます	食事を摂取することはできません 水分(水・お茶のみ)は摂取することができます	食事・水分を摂取することはできません
排泄	制限はありません		安静時間中はベッド上で排泄します 安静解除後はトイレを使用します
清潔	シャワー浴ができます (必要な場合はお手伝いをします)	タオルで体を拭くことができます (必要な場合はお手伝いをします)	
活動 (安静度)	制限はありません	病棟内でお過ごしください 内視鏡室へ歩いて移動します (状態によっては車椅子やベッドで移動します)	治療後2時間はベッド上で安静となります 安静解除後は病室内でお過ごしください
説明 (指導)	入院生活や治療について説明します 義歯・補聴器があるかを確認します ネームバンドを装着します 	治療開始予定時刻は 時 分です 病衣に着替えます 装身具(眼鏡・時計・義歯・指輪等)を外します ご家族の方は病棟の食堂にてお待ちください	医師から治療結果の説明があります 治療後、痛みや吐き気、発熱等を伴うことがあります 痛みが強い時や、気持ちが悪い時など、 異常を感じた時は看護師にすぐにお知らせください
その他	(離れる際はスタッフに声をかけてください)		

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

上記のとおり説明を受けました 年 月 日

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにたがって変わり得るものである。

説明を受けた人: 続柄

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

(本人・家族) ()

消化器内科パス:

内視鏡的静脈瘤結紮術(EVL)パス 入院診療計画書

GAY108

患者氏名

(性別)

患者ID

月日	治療後1日目	治療後2日目	治療後3～5日目	退院日
患者目標	治療後合併症を起こさない		日常生活に支障がない状態で退院を迎えることができる	
治療処置 注射 (内服)	点滴をします 粘膜を保護する薬を内服します (治療後3日目まで) 			退院時に処方がある場合は、薬剤師からお渡しします(不在の場合には看護師からお渡しする場合があります) ネームバンドを外します 体温計を回収します
検査	必要時、血液検査をします (検査がある場合は前日にお知らせします)			退院後の過ごし方、次回外来について説明をします
食事	食事を摂取することはできません 医師の指示で水分(水・お茶のみ)を摂取することができます	流動食が開始となります	3食ずつ食事が変わっていきます (3分粥食→5分粥食→7分粥食) (退院日は全粥食となります) 病院食以外のものは食べないでください	次回外来予約票と診察券をお渡しします 会計担当者が、お部屋へ伺います(開院日) 会計の説明を聞いてからの退院となります
排泄	制限はありません			(状況によっては、多少お待ち頂く場合がございます)
清潔	タオルで体を拭くことができます (必要な場合はお手伝いをします)	食事開始後はシャワー浴ができます 		
活動 (安静度)	病棟内でお過ごしください		制限はありませんが、病棟を離れる際はスタッフに声をかけてください	
説明 (指導)	痛みが強い時や気持ちが悪い時など、異常を感じた時は看護師にすぐにお知らせください 			
その他				

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

消化器内科パス: